



# ほたる

片山津小学校 学校だより  
令和6年2月吉日 第409号  
校長 中田 幸宏

<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~kataya/>

## 卒業式、修了式に向けてラストスパート！

いよいよ今年度最終月(3月)に入ります。3月15日の卒業式、22日の修了式に向けて、子どもたちには、その学年の締めくり、そして次の学年への準備をしっかりとしてほしいと思っています。そのために、子どもたち、教職員一同、一日一日を充実した毎日にしていきます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



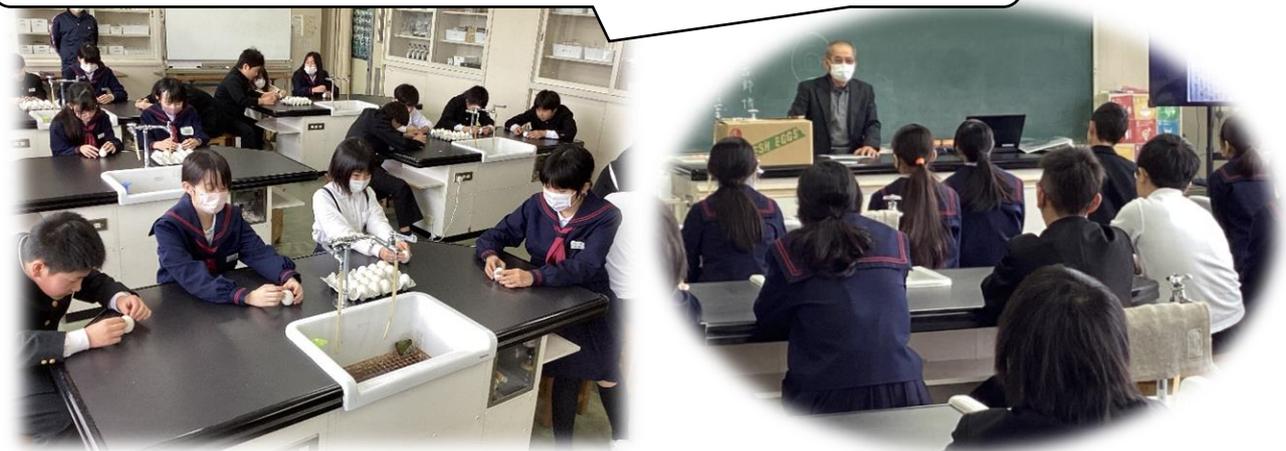
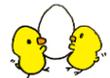
**2/1 授業参観** 今年度最後の授業参観を行いました。昨年度は、コロナ感染予防のため2回に分けて実施しましたが、今年度は全学年一斉に行うことができました。



**2/1 学校保健委員会(4~6年)** 睡眠について児童発表やワークショップを通して児童・保護者で話し合いました。子どもたちには、自分の睡眠を見直し、これからの生活にいかしてほしいと願っています。PTA 厚生保健委員の方々にもお世話頂きました。



**2/6 立春の卵(6年)** 30年目を迎える片小恒例の「立春の卵」授業。中谷宇吉郎博士が証明した「卵が立つ理由」について、今年も6年生が挑戦し、検証しました。毎年、商工振興会様から温泉卵を提供して頂いています。



**2/8 ふるさと学習：九谷焼美術館（4年）** 九谷焼美術館に行きました。色鮮やかな九谷焼を見学し、その歴史や成り立ちについて学ぶことができました。



**2/9 ふるさと学習：中谷宇吉郎雪の科学館（6年）** 初めて人工雪を作ることになった片山津温泉出身の中谷宇吉郎を記念して建設された雪の科学館に毎年6年生が行っています。いろいろな実験を通して、中谷氏の功績や科学の不思議に触れることができました。



**2/9 新1年生を迎える会（1年）** 年長さんを迎えて一緒に学校探検したり、クイズやジャンケン列車をして遊んだりして交流しました。



校長室から

**「立春の卵」～「たまごの立つ話」中谷宇吉郎 博士～**



1947年(昭和22年)に、立春の上海や米国で卵を立てる実験に成功した、というニュースが報道されました。この報道に疑問を感じ、卵を徹底的に調べたのが当時北大教授の中谷宇吉郎博士でした。その経緯をまとめたものが、随筆「立春の卵」です。顕微鏡で卵殻を観察したり、力学計算をおこなったりして、立春でなくとも、誰でも卵を立てることが可能であることを明らかにしたのです。

わかってみれば何でもない話ですが、どうして気が付かなかったのかということが問題だ、と博士は指摘しています。先入観にとらわれていないか、常識だと思っていることも「本当にそうだろうか」と問い直してみることの重要性を教えています。「問題は、そういうなんでもないことに、世界じゅうの人間がコロンブス以前の時代からこんにちまで、どうして気が付かなかったかという点にある。それは、五分間くらいついやしてたまごを立ててみようとした人が、いままでだれもいなかったからである。」（「たまごの立つ話」中谷宇吉郎）

今の自分は「常識」とらわれていないか？毎年、考えさせられます・・・

※片山津小 HP にカラー版及び関連記事が掲載されています。そちらもぜひご覧ください。